

# ファッションビジネス

## 能力検定試験

### 1 ・ 2 ・ 3 級

#### 募集要項

---

2・3級試験実施日

第37回2011年11月12日(土)

2・3級出願期間

第37回2011年8月31日(水)～9月27日(火)必着

1級試験実施日

第14回2012年1月21日(土)

1級出願期間

第14回2011年11月7日(月)～2012年1月6日(金)必着

# 検定の趣旨

ファッションビジネスは、繊維製品に新しいデザインが表現するスタイルや、イメージなどの付加価値をつけて生産・流通させ、市場で生活者の感性に訴え、共感を得てファッションを創りだし、成果を得る手段です。

また、ファッションビジネスは、素材・合織メーカーなどの“川上”といわれる産業から、服を企画・生産・販売する“川中”と称されるアパレル産業、そして、百貨店・専門店・量販店・小売店などの流通分野の“川下”まで、高度で広範囲な分野・領域の活動すべてをさします。

ファッションビジネス能力検定は、こうした広い分野・領域の、広く高度で専門的な知識や技術すべてを対象として、検定試験を実施しようとするものではありません。

ファッション専門教育機関をはじめ、大学・短大、或いはファッション企業に就職してから学んだ「ファッションビジネス知識」や「ファッション造形知識」を正當に評価して、取得した能力を「社会に証明」することを目標に実施するものです。

内容は、ファッションビジネスの世界に就職し、自分の希望する職種で活躍をする際に備えておくべき基本的な知識・技術を検証する3級から、ファッションに関する高度で専門的な知識・技術と、企画・創造力、洞察力等、総合的な能力を要する1級まで、段階的に評価をし、その能力を社会で、企業で活用・活躍出来ることをまた念願としております。

ライフスタイルの個性化・多様化が進み、流行として同じものを求めた以前とは大きく変革をし、他と一味違ったもの、本当に価値のあるものしか売れない時代になっています。また、日本で生産されていたものは、諸外国で生産、輸入されるようになり、国内の製造産業が空洞化しつつあります。

こうした中で、日本の繊維ファッション産業は、これからの産業を隆盛とするために、独自の感性による創造性豊か・クリエイティブな人材を育成し、世界に向かってファッションや情報を発信してゆこうとして様々な方策を検討しており、この検定試験も、こうした産業と教育の人材育成協議の大きなテーマの一つに位置づけられています。

ファッションビジネスの専門知識を身につけ、実力を幅広く生かし、これからのファッションビジネス界で活躍されますことを願います。

# ファッションビジネス 能力検定に期待する

本来、「ファッション」は、衣服に限らず、靴もバッグもアクセサリも化粧品、さらには住居、コミュニティも含めた、人間の、精神的な快適生活全般におよぶ広い概念ですが、非常に広範囲であるため、国の政策としては、衣服を中心とする「繊維ファッション」を、一つのくくりとしています。

この繊維ファッション、典型的にはアパレルですが、これを担当するファッション産業は非常に高度化し、その仕事であるファッションビジネスは、高度な「知性」と「感性」と「技術」が必要です。

単に、衣服を作り、売るというだけではなく、最近では環境問題も踏まえた現代人の生活のありようを考え、服や着こなしに対するニーズを洞察し、新技術を駆使して商品を作り、最も効率的な方法で生活者に提供して、満足してもらう。つまり、現代のファッションビジネスは、人間の能力を最大限に活用する、最先端の仕事といえます。

かつて、わが国では、教育と産業が分断していました。これは、多くの分野に共通する現象ですが、ファッションについては産業界と教育界が連携するようになりました。その、産学連携の促進機関が「繊維ファッション産学協議会」です。

この協議会は、世界の人々の豊かな衣生活を目指して、学校の教育や研究と、産業のビジネスを一貫して行う環境基盤を整えてゆきます。特に、ファッション産業を志す学生の教育は、学校時代からビジネスの観点で、高度に徹底して行わないと、諸外国とのファッション競争に勝つことはできません。ビジネス教育は、産業界に入ってからするのでは間に合わないのです。

産学協議会の代表は、産業界は、廣内武氏〔(一般社) 日本アパレル・ファッション産業協会理事長〕、教育界は、大沼淳氏〔(一般財) 日本ファッション教育振興協会理事長〕ですが、両者の握手によって、ファッション教育と研究とビジネスの産学一貫化が始まっております。

この産学協議会の主要事業(プロジェクト)の一つとして、「ファッションビジネス能力検定試験」と「パターンメイキング技術検定試験」、「ファッション販売能力検定試験」、そして「ファッション色彩能力検定試験」の検定制度があります。

産学協力は、いい方をかえれば、学校は学生に、産業界で使える能力を身に付けさせ、産業はビジネスに活用するという一貫システムですが、これらの検定は、一貫性の中での産学の結接点になります。

産業界もこれには大変に注目しています。それは、この検定に多くの学生諸君が参加し、この検定をクリアすることが、とりもなおさずわが国の繊維ファッション産業に働く人材の能力が高まることに他ならないからです。

繊維ファッション産学協議会は、これらの検定制度を産学協力の一環として重視し、期待をしています。

## 繊維ファッション産学協議会

(一般社)日本アパレル・ファッション産業協会／(一般社)日本衣料管理協会／  
日本百貨店協会／(財)ファッション産業人材育成機構／(社)日本ボディファッション協会／  
(社)日本専門店協会／日本織物中央卸商業組合連合会／ファッションビジネス学会／  
(一般社)日本ファッション・ウィーク推進機構JFWジャパン・クリエーション事務局／  
(一般財)日本ファッション教育振興協会

## 実施要項〈2・3級〉

### 試験日

●全国一斉●

第37回 2011年11月12日(土)

### 試験時間

●2・3級同時●

・9:20集合

・9:40~12:30

※全国同一日時に開始・終了のテストです。  
併願はできませんので、ご注意ください。

### 出願期間

第37回 2011年8月31日(水)~

9月27日(火)必着

※期間内に協会本部または支部**必着**のこと。

### 受験料

2級 5,000円

3級 5,000円

●科目免除受験は、2・3級ともに3,000円  
(消費税込み)

### 受験対象

- ・年齢・職業・学歴・性別・国籍を問いません。
- ・合格した級に関係なく、希望する級を受験できます。

### 試験会場

本協会が指定する試験会場で受験ください。

### 申し込み方法

#### A) 団体申し込み

学校・企業など団体一括申し込みを希望する場合は、所定の受験願書に、必要事項を記入の上、各学校・団体事務局で取りまとめたから、協会本部または各都道府県支部に受験料を添えてお申し込みください。

#### B) 一般(個人)申し込み

個人で申し込みをする場合は、所定の受験願書に、必要事項を記入の上、ご希望の受験地の各都道府県支部に現金書留で受験料を添えてお申し込みください。

※都道府県支部への送付先・連絡先は、最終ページをご覧ください。

#### C) 科目免除受験の申し込み

FB検定を受験し、「ファッションビジネス知識」か「ファッション造形知識」のいずれか1科目のみ合格して、科目免除受験をする場合は、所定の受験願書の裏面に科目合格証のコピーを貼付し、科目免除者申請欄を記入の上、上記A・Bいずれかの方法でお申し込みください。

科目免除者申請欄が無記入の場合は、新規受験となります。記入漏れのないよう注意してください。

#### ●科目免除の有効期限●

合格科目は、不合格となった試験から1年以内(次回、次々回まで)に受験する場合に限り、試験を免除します。

受験申し込み後の、受験取消し・内容・会場変更、受験料の返金は一切できませんので、ご注意ください。

### 受験票・登録校正票

- ・試験日の1週間前に、各申し込み先から交付されます。
- ・受験票は、写真貼付欄に4×3cmの写真(白黒でも可)を貼付の上、大切に保管し、試験当日必ず持参してください。
- ・本人の写真を貼付した受験票がなければ、受験はできません。
- ・受験票の記載事項に間違いがある場合は、必ず各申し込み先に申し出てください。

## 受験方法

指定された試験会場に、集合時間までに到着し、受験票を係員に提示の上、会場に入場し試験を受けてください。

## 各科目の配点と問題数

各科目の配点と問題数は、次の通りです。

科目/配点	2級(Ⅱ)	3級(Ⅰ)	問題数(2・3級)
ファッションビジネス知識	180点	180点	36問180解答
ファッション造形知識	100点	100点	20問100解答

配点は若干変更する場合があります。

## 合格基準

各級ともファッションビジネス知識は配点の60%、ファッション造形知識は配点の70%の得点をもって合格とします。

科目ごとの合格方式です。2科目合格した場合は受験「級の合格」、1科目合格の場合は「科目合格」となります。

## 合格発表

団体一括受験の場合は、各申し込み先から、一般(個人)受験の場合は、申し込み先を通じて本人宛に、合否を通知します。協会本部への合否の問い合わせには、お応えできません。

## 認定カードの発行

2科目合格者には「ファッションビジネス能力検定認定カード」を、また、科目合格者には「科目合格証」を発行します。(無料)

再発行はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

## 認定証書・合格証明書の発行

証書形式の認定証(A3サイズ)を希望する場合は、1部1,000円(送料・消費税込み)、合格証明書(A4サイズ)を希望する場合は、1部500円(送料・消費税込み)にて発行し

ます。

## 検定の実施級とレベル

### ●2級の検定レベル

ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界で活躍する際に必要な、ファッション専門知識・技術、ビジネス専門知識を検証するレベル。

ファッションの企画、生産、流通に関する専門基礎教育を2年間学んだ程度。

### ●3級の検定レベル

ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界で活躍する際に必要な、ファッションビジネスに関する基本的な知識・技術を検証するレベル。

ファッションの企画、生産、流通に関する専門基礎教育を1年間学んだ程度。

## 試験科目と時間割

科目/時間	2級	3級
受験説明	9:20~9:40	9:20~9:40
ファッションビジネス知識	[Ⅱ] 9:40~11:10	[Ⅰ] 9:40~11:10
ファッション造形知識	[Ⅱ] 11:30~12:30	[Ⅰ] 11:30~12:30

## 出題形式

試験問題の解答はマークシート方式です。

用語や語彙の意味を問う問題、文章が正しいか否かを問う正誤問題、あるいは、ファッションやビジネスに関する理論・概念・状況などの文章の中の指定された箇所に、当てはまる用語を、選択肢の中から選んで解答する問題などです。(計算問題は、電卓使用可)

## お問い合わせ先

募集要項の請求はこちらへ

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-20-6  
家庭クラブ会館1F  
一般財団法人 日本ファッション教育振興協会  
TEL 03-6300-0263  
FAX 03-6383-4018

ファッションビジネス知識Ⅱ

① ファッションビジネスの特性	(1)ファッションビジネスの事業特性 *ファッションビジネスの特性と役割 *ファッションアパレル企業の創・工・商 *ファッションアパレル企業の事業内容 *ファッション小売企業(店舗販売小売業)の創・工・商 *ファッション小売企業の事業内容 *ファッションビジネスのマネジメント特性	*テキスタイル産業の構造②=生地商、産元商社 *テキスタイル産業の構造③=テキスタイル産地 *アパレル産地の構造 *染色産業の構造 *副資材産業の構造 *日本の商社 *世界繊維産産と産地
	(2)ファッションビジネスの変遷 *繊維産業の歴史①=19世紀末まで *繊維産業の歴史②=20世紀 *日本のファッションビジネスの変遷 *日本の大型店の変遷	(3)グローバルな視点でとらえた小売業とSC *グローバルな視点でとらえた日本の小売業 *ヨーロッパの小売業態 *アメリカの小売業態 *ショッピングセンターの特性 *ショッピングセンターの分類
② ファッション消費生活	(3)ファッションビジネスをめぐる環境変化 *ファッション生活者の段階的進化 *ITとファッション生活 *グローバル化時代の消費 *エコロジーに対する注目 *グローバル化競争時代への突入 *ファッションビジネス戦略の新旧交代と、新しいビジネスモデルの創造 *ITの活用 *エコロジーへの対応 *ユニバーサルファッションへの期待	(4)服飾雑貨産業、ファッション関連産業・機関 *アパレル産業と服飾雑貨産業 *繊維製服飾雑貨産業 *靴・履物産業 *鞆(かばん)・袋物(バッグ)・革小物産業 *レザー産業 *装身具産業 *生活雑貨産業 *ファッション関連産業・機関とは *関連産産のあらし *関連機関のあらし
	(4)近年のファッションビジネス動向 *CS(顧客満足) *垂直統合とSPA *QRとSCM *業種のボーダーレス化 *ファッションビジネス、グローバル化の懸念 *アパレル輸入のさまざまな方式 *ライセンスビジネス *海外企業の日本進出、日本企業の海外進出 *eコマース *新業態開発とベンチャー企業	(1)アパレル企業のマーケティング *ファッションマーケティングの特性 *ブランドのマーケティング戦略 *マーケティング戦略1/市場機会の分析 *マーケティング戦略2/市場細分化とターゲット顧客の設定 *マーケティング戦略3/ブランドコンセプトの設定 *BI計画 *ファッションサイクル(流行のサイクル)とマーケティング戦略
③ ファッション産業構造	(1)ファッション消費行動を形成する要素 *ファッション消費とファッション生活 *ファッション生活・ファッション消費の意思決定プロセス *様々なファッション消費欲求1/求める商品価値の違い *様々なファッション消費欲求2/着用動機による違い *流行と消費の関係	(2)小売業のマーケティング *店舗のマーケティング戦略 *立地とエリアマーケティング *商圏 *店舗コンセプトの設定 *SI計画 *大型店(SO含む)のマーケティング活動 *無店舗小売業のマーケティング活動
	(2)ファッション消費の変遷と現在 *1960年代以降のファッション消費の変遷 *マズローの欲求5段階とファッション消費 *現代のファッション消費 *近年のライフスタイルファッションの変化 *都市空間におけるファッション	(3)マーケティングミックスと業務の運営 *ファッション企業のマーケティングミックス *アパレル企業のマーケティングミックス *アパレル企業の商品戦略 *アパレル企業の流通・コミュニケーション戦略 *ブランドの開発と運営 *店舗小売業のマーケティングミックス *店舗小売業の商品戦略、流通・コミュニケーション戦略 *店舗開発と店舗運営
④ ファッションマーケティング	(1)グローバルな視点でとらえたアパレル産業 *ヨーロッパのアパレル産業の概要 *フランスのアパレル産業 *イタリアのアパレル産業 *アメリカのアパレル産業 *アジアのアパレル産業の概要 *韓国のアパレル産業 *シンガポールのアパレル産業 *中国のアパレル産業 *日本のアパレル産業	(4)市場調査の手法 *市場調査の意味とファッション企業における市場調査の特性 *ファッション企業が市場調査で収集・分析する情報 *街頭消費者調査の実施方法 *競合店調査の実施方法 *売上データの分析
	(2)繊維産業の知識 *繊維産業の概要 *繊維素材産業の構造① *繊維素材産業の構造②=合成繊維メーカー *繊維素材産業の構造③=紡績企業 *繊維素材産業の構造④=糸商 *テキスタイル産業の構造①=生地メーカー	(1)アパレルマーチャンダイジングと商品開発 *アパレルマーチャンダイジングの特性 *ブランドコンセプトとマーチャンダイジング基本計画 *アパレルマーチャンダイジング業務フロー *SPAのマーチャンダイジング特性
⑤ ファッション文化・デザイン文化	(1)グローバルな視点でとらえたアパレル産業 *ヨーロッパのアパレル産業の概要 *フランスのアパレル産業 *イタリアのアパレル産業 *アメリカのアパレル産業 *アジアのアパレル産業の概要 *韓国のアパレル産業 *シンガポールのアパレル産業 *中国のアパレル産業 *日本のアパレル産業	(2)リテールマーチャンダイジングとバイイング *リテールマーチャンダイジングの特性 *マーチャンダイジング基本計画とシーズンマーチャンダイジング

ファッション造形知識Ⅱ

① ファッション文化・デザイン文化	(1)ファッション文化とデザイン文化 *ファッションの語源 *ファッションと生活文化 *流行とは、時代的美意識 *ファッションとデザイン文化 *ファッション文化とアート、音楽文化、映像文化 *世界のコレクションシーンとその意味	*マンズリー・スタイリング計画の手順 *お客様への対応 *お客様のフィッティング *コーディネートの基本
	(2)服装史の基礎知識 *ウォールの登場とクリノリンスタイル *現代の服装(20世紀)	(3)VP、PP、IPの計画 *VMDとVP *セリング・ストックとディスプレイ *売場構成 *什物の種類 *什物の活用法 *売場の照明
② コーディネート	(3)デザイン文化の歴史 *産業革命とモリスのアーツ・アンド・クラフツ運動 *アール・ヌーボーとアール・デコ *バウハウス *モダニズムとポストモダニズム	(1)アパレルの商品部門・服種・アイテムの知識 *はじめに *カジュアルウェアとは *メンズ・テラードスーツの重要性 *メンズ・テラードスーツのモダリティ *メンズ・フォーマルウェアの推移 *レディース・フォーマルウェアの推移 *アイテムと「型」 *品番とSKU
	(4)コンテンポラリーデザインの世界 *インテリアデザイン、建築デザイン *グラフィックデザイン *パッケージデザイン *テキスタイルデザイン *アート	(2)シルエット、ディテールの知識 *はじめに *「～スタイル」 *「～ルック」 *「～ファッション」 *「～カジュアル」「～トラッド」など *テラード・ジャケットのディテールデザイン *プリーツの種類
③ ファッション商品知識	(1)アパレル企業のスタイリング計画 *アパレル企業のスタイリング計画とは *シーズン・スタイリング計画 *展示会のスタイリング計画 *店頭スタイリング計画 *カタログ、広告のスタイリング計画 *ショールーム・プラン	(3)服飾雑貨の商品知識 *服飾雑貨の商品知識 *繊維製服飾雑貨 *ネクタイ *靴下(レッグ・ニット) *手袋 *帽子 *スカーフ・ハンカチーフ類 *装身具 *宝飾品 *ベルト *バッグ、カバン、袋物、革小物 *シューズ(靴) *その他
	(2)小売店舗のスタイリング *小売店舗のスタイリングとは *店頭におけるスタイリング訴求	(4)素材の専門知識 *素材知識の重要性 *素材の基礎知識

⑤ ファッション マーチャ ンダイ ジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>*シーズンマーチャ ンダイジ ング計 画の実 施とマ ンスリ ー販売 計画</li> <li>*仕入先と の取組 み方 *仕 入実務</li> </ul>	⑧ 販売管 理とプ ロモー ション	<ul style="list-style-type: none"> <li>*売上管理 *在庫管理</li> <li>*顧客管理 *百貨店の売場管理</li> </ul>
	<p>(3)商品構成、VMDの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*アパレルメーカーの商品構成の留意事項</li> <li>*店頭商品構成の留意事項 *VMD戦略の概要</li> <li>*客導線・ゾーニング *フェイシング、ディスプレイ</li> <li>*フェイスとストックスペースの在庫管理</li> </ul>		<p>(2)多店舗運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*多店舗運営のメリット</li> <li>*多店舗運営のさまざまな方法</li> <li>*チェーンストアの組織と運営方法</li> <li>*SPAの組織と運営方法 *セレクトショップの多店舗化</li> <li>*多店舗運営と物流 *POSシステムの活用</li> <li>*テナントとしての実務</li> </ul>
⑥ アパレル 生産と物 流	<p>(4)価格と原価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*価格の基礎知識 *基準価格の設定方法</li> <li>*マーチャ ンダイ ジング と価格</li> <li>*アパレルメーカーの原価</li> <li>*上代・下代・掛率 *値下げ価格について</li> </ul>	⑨ キャリ アプラン	<p>(3)販売計画、販売管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*小売店舗における売り上げ</li> <li>*単独店の販売計画の立て方</li> <li>*チェーン店の販売計画の立て方</li> <li>*売上予算管理 *販促計画と販売計画</li> </ul>
	<p>(5)ファッション情報の収集・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ファッションマーチャ ンダイ ジング のための情報の収集と分析</li> <li>*店頭情報の収集と分析</li> <li>*ファッション情報の時系列フロー</li> <li>*世界のコレクションと見本市</li> <li>*ファッションメディア *ファッションリソース</li> </ul>		<p>(4)ファッション企業のプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*コミュニケーション活動について</li> <li>*プロモーション活動の分類</li> <li>*ファッション企業のプロモーション戦略の特性</li> <li>*アパレル企業のプロモーション戦略</li> <li>*B計画 *展示会運営の知識</li> <li>*ファッションショー運営の知識</li> </ul>
⑦ ファッション 流通	<p>(1)アパレル生産管理、品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*生産管理とは *生産管理部門の基本計画</li> <li>*生産管理部門の業務 *資材の調達・投入とロット</li> <li>*技術管理 *海外委託生産の留意点</li> <li>*品質管理</li> </ul>	⑩ ビジネス 基礎知識	<p>(5)ショップのプロモーション計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ショップ・プロモーションの特性</li> <li>*集客促進 *買上促進</li> <li>*ショップの販売促進方針</li> <li>*年間イベント企画(販促カレンダーの作成)</li> <li>*DM(ダイレクトメール)企画</li> <li>*ギフト対応とラッピング</li> <li>*ショップのオープニングプロモーション</li> <li>*印刷物制作の基礎知識</li> <li>*ホームページ制作の基礎知識</li> </ul>
	<p>(2)アパレル物流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*物流とは *物流とロジスティクス</li> <li>*小売企業の物流①=物流活動の5領域</li> <li>*小売企業の物流②=チェーン専門店</li> <li>*アパレル卸商の物流①</li> <li>*アパレル生産企業の物流</li> </ul>		<p>(1)ファッション業界の職業別業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ファッション小売企業の専門職と総合職</li> <li>*小売企業各職種の連携</li> <li>*アパレル企業の専門職と総合職</li> <li>*アパレル企業各業種の連携</li> </ul>
⑦ ファッション 流通	<p>(3)QRの基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*QRとは *アメリカで成功したQR</li> <li>*日本におけるQRの推進 *QRがもたらすメリット</li> <li>*QR推進上の前提 *QRとSCM</li> </ul>	⑩ ビジネス 基礎知識	<p>(2)職業人の活動と自己啓発、自己管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*職業人とは *会社と職業人の関係</li> <li>*組織における連携活動 *組織における個人の責任</li> <li>*ファッション企業人に求められる資質</li> <li>*キャリアプランとキャリアプログラム</li> <li>*自己啓発と自己実現と自己管理</li> </ul>
	<p>(1)アパレル流通戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*流通の概念 *流通戦略とコミュニケーション戦略</li> <li>*アパレル企業のチャネル戦略</li> <li>*SPA等のチャネル戦略 *SCIに対する出店戦略</li> </ul>		<p>(1)マネジメント基礎知識、IT基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*企業経営の基礎知識 *会社の組織</li> <li>*人事・労務の基礎知識 *企業の社会的責任</li> <li>*発想法 *情報ネットワークの仕組み</li> <li>*ITとファッションビジネス *POSシステム</li> </ul>
⑦ ファッション 流通	<p>(2)アパレル、小売、SCの取引特性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*取引の概念</li> <li>*買取仕入れ、委託仕入れ、売上仕入れ</li> <li>*上代・掛率制、派遣販売員制</li> <li>*テナントとSCで変わられる取引条件</li> <li>*チャネル別取引特性</li> <li>*SCと百貨店の共通点と相違点</li> </ul>	⑩ ビジネス 基礎知識	<p>(2)計数管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ショップの計数管理/売上高、売上原価、粗利益、経費、営業利益</li> <li>*損益分岐点売上高</li> <li>*販売価格のマーチャ ンダイ ジング 計数</li> <li>*適正在庫のバインディング計数</li> <li>*ストアオペレーション計数</li> <li>*アパレルメーカーの計数管理/売上高、売上原価、粗利益、経費、営業利益</li> <li>*ブランドのマーチャ ンダイ ジング 計数</li> <li>*アパレル営業の計数 *SPAの計数管理</li> </ul>
	<p>(3)アパレル営業とチャネル管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*営業部門の役割</li> <li>*アパレル営業方針/取引先の選定と、営業方針の設定</li> <li>*アパレル営業方針/小売店舗に対する営業方針、営業組織</li> <li>*営業担当者の業務内容</li> <li>*掛売りと売掛金の回収</li> </ul>		<p>(2)職業人の活動と自己啓発、自己管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*職業人とは *会社と職業人の関係</li> <li>*組織における連携活動 *組織における個人の責任</li> <li>*ファッション企業人に求められる資質</li> <li>*キャリアプランとキャリアプログラム</li> <li>*自己啓発と自己実現と自己管理</li> </ul>
⑦ ファッション 流通	<p>(1)単独店舗運営、販売スタッフ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*店舗運営業務</li> <li>*商品管理(品揃え、販売計画および在庫管理)</li> <li>*売場管理(売上管理、顧客管理)</li> <li>*販売スタッフ管理</li> </ul>	⑩ ビジネス 基礎知識	<p>(1)マネジメント基礎知識、IT基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*企業経営の基礎知識 *会社の組織</li> <li>*人事・労務の基礎知識 *企業の社会的責任</li> <li>*発想法 *情報ネットワークの仕組み</li> <li>*ITとファッションビジネス *POSシステム</li> </ul>
	<p>(1)アパレル生産管理、品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*生産管理とは *生産管理部門の基本計画</li> <li>*生産管理部門の業務 *資材の調達・投入とロット</li> <li>*技術管理 *海外委託生産の留意点</li> <li>*品質管理</li> </ul>		<p>(2)職業人の活動と自己啓発、自己管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*職業人とは *会社と職業人の関係</li> <li>*組織における連携活動 *組織における個人の責任</li> <li>*ファッション企業人に求められる資質</li> <li>*キャリアプランとキャリアプログラム</li> <li>*自己啓発と自己実現と自己管理</li> </ul>

④ ファッション・ デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>*素材の専門知識</li> <li>*染色・仕上げ・加工のあらまし</li> <li>*染色のさまざま *仕上げのさまざま</li> <li>*加工のさまざま *製品洗い加工のさまざま</li> <li>*皮革の知識</li> <li>*塩化ビニールレザー・合成皮革・人工皮革の知識</li> </ul>	⑤ パター ン	<ul style="list-style-type: none"> <li>*配色の種類と用語</li> <li>*色の対比と同化</li> <li>*店舗における色彩と照明</li> <li>*印刷物や映像における色彩表現</li> </ul>
	<p>(5)副資材の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*副資材とは</li> <li>*副資材知識の有無がビジネスを左右する</li> <li>*副資材の知識</li> </ul>		<p>(4)デザイン・ディレクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ターゲット、ブランドコンセプトとデザイン</li> <li>*シーズンコンセプトとデザイン</li> <li>*デザイナーの業務フロー</li> <li>*商品構成、スタッキングとデザイン</li> <li>*パターン、サンプル、上代決定とデザイン</li> <li>*VMDとデザイン</li> </ul>
④ ファッション・ デザイン	<p>(1)アパレルデザイン提案の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*アパレルデザインの特徴</li> <li>*アパレルデザインの要件</li> <li>*アパレルデザインの発想</li> <li>*アパレルデザインの構成手順</li> <li>*アパレルデザインの提案</li> <li>*アパレルデザインとCG</li> </ul>	⑥ フッ ァッ シ ョ ン	<p>(1)パターンメーカー実務に関する基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*パターンの基礎知識の重要性</li> <li>*さまざまなパターンメーカーキング手法</li> <li>*既製のパターンとJIS衣料サイズ</li> <li>*工業用ボディとブランドオリジナル・ボディ</li> <li>*既製の原型 *縫製仕様書の知識</li> </ul>
	<p>(2)ファブリケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*ファブリケーション(素材計画)の発生</li> <li>*ファブリケーションとは</li> <li>*ファブリケーションの検討項目</li> <li>*ファブリケーションと情報</li> <li>*商品企画とファブリケーション</li> <li>*柄模様の種類</li> </ul>		<p>(2)修正の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*パターンメーカー実務に関する基礎知識</li> <li>*パターンの基礎知識の重要性</li> <li>*さまざまなパターンメーカーキング手法</li> <li>*既製のパターンとJIS衣料サイズ</li> <li>*工業用ボディとブランドオリジナル・ボディ</li> <li>*既製の原型 *縫製仕様書の知識</li> </ul>
④ ファッション・ デザイン	<p>(3)色彩専門知識と色彩計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*色彩実務の全容</li> <li>*色彩情報の収集と分析</li> <li>*アパレル・マーチャ ンダイ ジ ング にお ける 色 彩 計 画</li> <li>*アパレル素材と色彩計画</li> <li>*カラーコーディネーション</li> </ul>	⑥ フッ ァッ シ ョ ン	<p>(1)アパレル生産工程の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*アパレル生産プロセス</li> <li>*パターン、縫製仕様書と生産</li> <li>*グレーディング *マーキング</li> <li>*延反、裁断、縫製 *仕上げ *包装、出荷</li> </ul>
	<p>(1)アパレル生産管理、品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*生産管理とは *生産管理部門の基本計画</li> <li>*生産管理部門の業務 *資材の調達・投入とロット</li> <li>*技術管理 *海外委託生産の留意点</li> <li>*品質管理</li> </ul>		<p>(2)CAD、CAMの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*アパレル企画・生産のDIT化</li> <li>*CAD *CAM</li> </ul>
(資料1)ファッションビジネスに関する法律関連用語集 (資料2)貿易関連用語集			

# 3級 出題範囲

## ファッションビジネス知識 [ I ]

① ファッション ビジネスの 概要	<p>1. ファッションビジネスの定義と特性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 多様な「ファッション」</li> <li>(2) ファッションの語源と同義語</li> <li>(3) ファッションの7つの意味</li> <li>(4) ファッション産業、ファッションビジネス</li> <li>(5) ファッション商品</li> <li>(6) ファッションサービス</li> <li>(7) ファッション商品と「流行」</li> <li>(8) ファッション企業と消費者、生活者</li> <li>(9) ファッションビジネスの特性</li> <li>(10) ファッションビジネスの広がりや位置づけ</li> </ul> <p>2. 繊維ファッション産業の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 繊維ファッション産業の構成</li> <li>(2) ファッションビジネスの流れ</li> <li>(3) ファッションビジネスの歩み</li> <li>(4) ファッションビジネスの最近の傾向</li> <li>(5) 日本のファッションを世界に発信</li> <li>(6) ファッション産業の職種</li> </ul>	③ アパレル 産業と 小売業	<p>1. アパレル産業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) アパレル産業とは</li> <li>(2) アパレルメーカー</li> <li>(3) デザイナーブランドビジネス</li> <li>(4) インディーズデザイナー企業/ マンションメーカー</li> <li>(5) インポートアパレルビジネス</li> <li>(6) ジャパン社</li> <li>(7) 地方卸商</li> <li>(8) 現金卸商・セルフ卸商</li> <li>(9) 商社アパレル部門</li> <li>(10) ライセンスビジネス</li> </ul> <p>2. ファッション小売産業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小売企業とは</li> <li>(2) 百貨店</li> <li>(3) 量販店</li> <li>(4) 専門店</li> <li>(5) チェーンストア</li> <li>(6) 低価格販売を目指す小売業態</li> <li>(7) 無店舗販売</li> <li>(8) 商業集積</li> <li>(9) ショッピングセンター</li> <li>(10) ファッション専門店の主な業態</li> </ul>
	<p>② ファッション消費と消費者行動</p> <p>1. 消費者行動とファッション表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消費と消費者</li> <li>(2) 消費者意識と消費者行動</li> <li>(3) 家計と消費</li> <li>(4) 消費者問題と消費者の権利</li> <li>(5) 消費者ニーズの多様化</li> <li>(6) 消費者の意思決定プロセス</li> <li>(7) 消費者のファッション表現</li> <li>(8) ファッションでの「欲求5段階説」の理解</li> </ul> <p>2. ライフスタイルとファッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ライフスタイルとは</li> <li>(2) ライフスタイルの多様化</li> <li>(3) ライフサイクル</li> <li>(4) ライフステージ</li> <li>(5) TPO</li> <li>(6) シーズンサイクル</li> </ul> <p>3. お客様の購買行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) お客様・顧客</li> <li>(2) 購買行動</li> <li>(3) 購買動機</li> <li>(4) 購買心理</li> <li>(5) 購買心理のプロセス</li> </ul>		④ ファッション マーケティング

## ファッション造形知識 [ I ]

① デザインの 定義と 特性	<p>1. 衣服の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 衣服の役割</li> <li>(2) ファッションは、社会のしくみの中から</li> <li>(3) デザインへの意識の変化</li> <li>(4) アパレル/衣服の機能</li> <li>(5) 「美」の本質</li> <li>(6) デザインとは</li> <li>(7) デザインとアートの違い</li> <li>(8) アパレルデザインの構成要素</li> <li>(9) デザイン画とは</li> <li>(10) デザイン画の基本</li> <li>(11) デザイン画の目的</li> <li>(12) デザイン画のプロポーション</li> <li>(13) 製品図とその活用</li> <li>(14) 既製服と注文服/ オートクチュールとプレタポルテ</li> <li>(15) クリエーションとは</li> </ul>	② ファッション コーディネーション	<p>1. コーディネーションの基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) コーディネートとは</li> <li>(2) ファッションコーディネートの要件</li> <li>(3) 服やアイテムとのコーディネート 色によるコーディネート/素材によるコーディネート/感覚によるコーディネート/柄によるコーディネート</li> </ul> <p>2. ファッションスタイリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) オカージュとスタイリング オフィシャル/ソーシャル/プライベート</li> <li>(2) 美意識と感性 エレガンス/ロマンティック/エスニック/カン トリー/アクティブ/マニッシュ/モダン/ソフ ィスティケート</li> <li>(3) ワードローブ計画</li> </ul> <p>3. ファッション企業のスタイリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スタイリングとは</li> <li>(2) スタイリング提案</li> <li>(3) シーズンスタイリング</li> <li>(4) シーズンスタイリング事例</li> <li>(5) さまざまなファッションイメージ</li> </ul>
-------------------------	---	--------------------------	---

④ ファッション マーケティング	(2)ファッション感性による分類 (3)オケーションによる分類 (4)グレード(クオリティ)による分類 (5)革新度による分類	⑥ ファッション 流通	(3)流通コスト (4)取引 (5)取引条件 (6)アパレルメーカーと小売企業の取引実例
	3. 市場調査の基礎知識 (1)市場調査とマーケティングリサーチ (2)マーケティング活動のための情報源 (3)情報の集め方 (4)ファッション企業の市場調査 (5)ファッション企業の代表的な市場調査 (6)消費者調査 (7)店舗に関する調査		2. ファッション小売企業の仕組みと業務 (1)単独店とチェーン専門店 (2)チェーン専門店の組織と販売 (3)百貨店の組織と販売 (4)量販店の組織と販売
⑤ ファッションマー チャンダイジング	1. マーチャンダイジングの基礎知識 (1)マーチャンダイジングとは (2)アパレル企業のマーチャンダイジング (3)ファッション小売企業のマーチャンダイジング (4)マーチャンダイザー (5)アパレル企業の「商品化計画」プロセス (6)ファッション小売企業の「品揃え計画」プロセス (7)SPAのマーチャンダイジング (8)コンセプト設定の注意事項 (9)シーズンマーチャンダイジング (10)VMD(ビジュアルマーチャンダイジング) (11)商品の価格	⑦ ビジネス基礎知識	1. 会社に関する基礎知識 (1)会社とは (2)株式会社 (3)その他の会社 (4)企業の社会的責任
	2. 商品企画・生産・販売の流れ (1)アパレル企業のマーチャンダイジング(MD) (2)アパレル商品企画・生産・販売 (3)商品構成 (4)展示会 (5)アパレル企業での生産管理		2. 企業の組織 (1)組織とは (2)経営管理
	3. 売場商品構成の基礎知識 (1)売場の商品構成 (2)「品揃え」での商品分類 (3)売場分類 (4)ゾーニング (5)演出と陳列		3. 企業会計 (1)簿記 (2)企業会計 (3)企業の決算
	1. 流通 (1)流通とは (2)流通の役割と機能		4. 計数知識 (1)計数の重要性 (2)売上高 (3)目標達成率 (4)前年(昨年)対比 (5)費用と利益 (6)営業費用と営業利益と原価 (7)粗利益(売上総利益)、粗利益率 (8)在庫と適正在庫 (9)単品管理とPOSシステム (10)販売価格(プライス) (11)価格表示 (12)商品回転率 (13)商品回転日数 (14)坪効率 (15)客単価

③ ファッション商品知識	1. アパレル商品知識【服種・アイテム】 (1)より深いアパレルの商品知識を (2)アパレルの分類 アウターウェア/レディス・メンズのアウターウェア/ジャケットイン/ニットアウターウェアの服種/ジーンズの服種/子供服・ティーンズアウターウェア/インナーウェアの服種/ルームウェアの服種/ベビーウェアの服種/アパレルの広域語	③ ファッション 商品知識	5. 繊維の知識 (1)天然繊維 綿/麻/毛/絹 (2)化学繊維 レーヨン/ポリノジック/キュプラ/精製セルロース繊維/アセテート/トリアセテート (3)合成繊維 ポリエステル/ナイロン/アクリル/ビニロン/ポリウレタン
	2. シルエットの知識 (1)シルエットとは (2)主要なシルエット (3)服の丈の名称		その他
	3. デテールの知識 (1)デテールとは ネックライン/カラー/ショルダー/スリーブ/カフス/ポケット		1. 原産国表示/2. その他の表示の知識:品質マークの例/3. 成人男子用衣料のサイズ/4. 組成表示の例/5. 繊維指定用語/6. 繊維製品の取扱い絵表示の意味
	4. サイズの知識 (1)アパレルのサイズ (2)J I Sサイズの特徴 (3)成人女子用衣料のサイズ表示		

(表面)

フアッションビジネス能力検定試験

受験願書 (本部提出用)

受験願書の項目はコンピュータに入力せず、正確に記入してください。

受験級	受験番号	学校名または企業・団体名	受験者通し番号
3級	130	ヤマダ	0001

氏名 (外国人名は必ずアルファベットの太文字で記入)

フリガナ ヤマダ ハナコ

姓 山田

名 花子

〒151-0053 渋谷区代々木3-20-6 家庭クラブ会館1階

TEL 03(6300)0263

生年	月	日	年	月	日	生年	月	日
19	9	10	3	20	1991	6	21	1

年齢 (例) 1991年6月21日⇒910621

性別

性別/学級

科目免除者申請欄 (科目受験者のみ記入)

受験した年月	級	免除になる科目	受験地No	会場No	受験番号
1 2011年06月	3	FB知識	1300280	0519	
2 2010年11月	3	F造形知識			

FB知識  
 (注1) 科目受験者のみ  
 受験科目を切り  
 取ってください。

F造形知識  
 (注2) どちらかに○をつけ、受験する科目を切り取る。  
 (注3) 科目合格証の番号を記入する。  
 ※科目免除の受験申請は、科目合格証のコピーを裏面の所定の  
 位置に貼付してください。

受験願書の記入方法

受験者は太線枠内の項目のみ記入してください。

記入上の注意

- ①黒のペンまたはボールペンで、漢字は楷書で、ハッキリ記入してください。
- ②受験地番号は、希望する受験地の番号を受験願書控の裏面の「受験地番号表」を参照して記入してください。ただし、会場の都合により実施しない都道府県もありますので、最終ページの出願先にお問い合わせください。
- ③氏名の簡易文字・特殊文字によっては認定カードに印字できない場合があります。一般的な文字やアルファベット表記にされることをおすすめします。
- ④氏名の登録をアルファベット表記にする場合は、ローマ字の欄にスペースを含め18文字以内で記入してください。
- ⑤生年月日は西暦で記入してください。
- ⑥科目免除申請者は、必ず科目合格証のコピーを、受験願書裏面に貼付してください。また、科目合格証を見ながら、科目免除者申請欄を忘れずに記入してください。
- ⑦記入のない場合は、新規受験となります。
- ⑧受験願書左上の三角印の受験級を切り取ってください。科目免除受験者については、申請欄左横の三角印 (受験する科目) も切り取ってください。
- (注) 受験者通し番号は、学校・団体事務局で各級ごとに0001 (4桁) から記入してください。

●受験申込後の受験取消し・内容変更、受験料の返金は一切できません。

(裏面)

フアッションビジネス能力検定  
 科目合格証

受験者氏名 山田花子

合格科目 3級 F造形知識

受験地番号 130

会場番号 028

受験番号 00519

受験年月 2010年11月

一般財団法人 日本フアッション教育振興協会

※この科目合格証は、免除申請の時に必要です。1年間大切に保管ください。

◆注意◆科目受験者は受験願書表面の科目免除者申請欄を忘れずに記入してください。

ファッションビジネス能力検定試験

受験願書 (本部提出用)

学校・団体事務局で記入する。

受験級	受験地番号	学校名または企業・団体名	受験者通し番号
<b>3級</b>			
氏名 (外国人名は必ずアルファベットの大文字で記入) フリガナ			
漢字	姓	名	
外国人名	姓	名	
住所	〒		
西暦	年	月	日
19			
生年月日	年齢 (歳)	TEL ( )	生年月日は西暦で記入すること。 (例) 1991年6月21日⇒910621
	学科/所属	学年	組 ( )

受験願書の項目はコンピュータに入ります。正確に記入してください。

切り取ってください。

3級

ファッションビジネス能力検定試験

受験願書控 (学校・団体または支部保管用)

受験級	受験地番号	学校名または企業・団体名	受験者通し番号
<b>3級</b>			
氏名 (外国人名は必ずアルファベットの大文字で記入) フリガナ			
漢字	姓	名	
外国人名	姓	名	
住所	〒		
西暦	年	月	日
19			
生年月日	年齢 (歳)	性別	1 男 2 女
	学科/所属	学年	組 ( )
		TEL ( )	

科目免除者申請欄 (科目受験者のみ記入)

受験した年月	級	免除になる科目	受験地No	会場No	受験番号
1 2011年06月	<b>3</b>	1 FB知識			
2 2010年11月		2 F造形知識			

FB知識

切り取ってください。

F造形知識

〈注1〉 どちらかに○をつけ、受験する科目を切り取る。  
 〈注2〉 科目合格証の番号を記入する。  
 ※科目免除の受験申請は、科目合格証のコピーを裏面の所定の位置に貼付してください。

..... 受験者はきりはなさないで、そのまま支部または学校に出願してください .....

科目免除者申請欄 (科目受験者のみ記入)

受験した年月	級	免除になる科目	受験地No	会場No	受験番号
1 2011年06月	<b>3</b>	1 FB知識			
2 2010年11月		2 F造形知識			

記入上の注意

1. ペンまたはボールペンで記入する。
2. 太欄枠内はすべて記入し、該当する項目を○で囲む。
3. 漢字は楷書で、文字はすべてはつき正しく書く。
4. 受験地番号は受験願書控裏の受験地番号表を参照して記入する。
5. 生年月日は西暦で記入する。
6. 科目免除申請者は、必ず願書裏面に科目合格証のコピーを貼付する。

《受験地番号表》

010. 北海道	250. 滋賀
020. 青森	260. 京都
030. 岩手	270. 大阪
040. 宮城	280. 兵庫
050. 秋田	290. 奈良
060. 山形	300. 和歌山
070. 福島	310. 鳥取
080. 茨城	320. 島根
090. 栃木	330. 岡山
100. 群馬	340. 広島
110. 埼玉	350. 山口
120. 千葉	360. 徳島
130. 東京	370. 香川
140. 神奈川	380. 愛媛
150. 新潟	390. 高知
160. 富山	400. 福岡
170. 石川	410. 佐賀
180. 福井	420. 長崎
190. 山梨	430. 熊本
200. 長野	440. 大分
210. 岐阜	450. 宮崎
220. 静岡	460. 鹿児島
230. 愛知	470. 沖縄
240. 三重	

重要

科目免除の受験をする場合は、  
必ず、ここに**科目合格証のコピーを**  
**貼付**してください。

◆注意◆科目受験者は受験願書表面の科目免除者申請欄を忘れずに記入してください。



《受験地番号表》

010.	北海道	250.	滋賀
020.	青森	260.	京都
030.	岩手	270.	大阪
040.	宮城	280.	兵庫
050.	秋田	290.	奈良
060.	山形	300.	和歌山
070.	福島	310.	鳥取
080.	茨城	320.	島根
090.	栃木	330.	岡山
100.	群馬	340.	広島
110.	埼玉	350.	山口
120.	千葉	360.	徳島
130.	東京	370.	香川
140.	神奈川	380.	愛媛
150.	新潟	390.	高知
160.	富山	400.	福岡
170.	石川	410.	佐賀
180.	福井	420.	長崎
190.	山梨	430.	熊本
200.	長野	440.	大分
210.	岐阜	450.	宮崎
220.	静岡	460.	鹿児島
230.	愛知	470.	沖縄
240.	三重		

**重要**

科目免除の受験をする場合は、  
必ず、ここに**科目合格証のコピーを**  
**貼付**してください。

◆注意◆科目受験者は受験願書表面の科目免除者申請欄を忘れずに記入してください。

# ファッションビジネス能力検定試験

一般財団法人 日本ファッション教育振興協会

## ファッションビジネス能力検定について

この検定は、アパレル企業、リテール企業等に就職し、能力を生かし活躍する際に備えておくべき基本的な知識や技術を検証する3級から、ファッションに関する高度で専門的な知識・技術と、企画・創造力、洞察力等、総合的な能力を要する1級まで、段階的に評価をし、その能力を社会で、企業で評価・活用願えることを目的とするものであります。

検定試験開始当時は、すでに長年にわたりファッションビジネスに関連する教育課程を設定し、教育を展開しておられた学校の学生の受験がそのほとんどでありましたが、この分野に対する関心の高まりと、アパレル・リテール企業からの求人に対応するため、ファッションビジネス教育へ取り込まれる教育機関も増加し、この検定受験のための勉強が、結果として本人の能力を高め、就職後きわめて役立ち、また資格取得が就職に有利との認識も高まってきております。

特に、このところ全国の服飾・家政系列の大学・短期大学より、多くの問合せをいただいております。アパレル・リテール企業より求人の多い中核都市およびその周辺の大学・短大生の受験者が多く見られます。

また、新しい職業分野に挑戦したいと、一般の受験者も多くなってきております。

## 2・3級検定試験の内容

この検定の2・3級の試験は「ファッションビジネス知識」と「ファッション造形知識」

の2科目で実施され、それぞれの科目の基準点を2科目ともクリアした場合、2級、3級が合格となり、不合格の科目については次回に挑戦できる制度になっております。

ファッションビジネス知識は、2・3級ともに36問180解答を90分で、造形知識は20問100解答を60分で解答する試験で、専門分野として出題範囲も広く、合格するにはある程度の勉強を必要とする内容であります。

文書量が若干ずつ多くなり、少しずつ難しくなってきましたが、企業に就職すれば、多くの文書を読み、作成し、多くの情報を仕事に役立てる必要性は極めて高くなります。専門知識を学びながら読解力を付け、そして素早い判断力を養っていただければ幸いです。

## 企業での評価が高くなってきています。

アパレル企業、流通企業の多くの方々は、2～3級ガイドブックの内容に関し「これだけの内容を、しっかり学んできてくれば、企業にとってありがたい、充実した内容である」「今までこうした内容のものがなかったので、今後社内教育や、社員の自己啓発にも活用したい」と発言・評価をいただいております。

また、その他、この検定についてお問合せをいただいた企業の経営者や人事担当者のなかには、「検定試験合格者を採用に当たっては考慮したい」「将来的に社内の昇格試験の一部に組み込んでゆきたい」と言われるところもあり、企業での、この検定の活用が願えつつあります。

## 第14回ファッションビジネス能力検定試験 [1級] 募集要項

### ●試験実施日

2012年1月21日(土)

### ●出願期間

2011年11月7日(月)～2012年1月6日(金)必着

### ●受験料

受験(5科目) 12,000 円 (消費税込み)

科目受験(1科目につき) 4,000 円 (消費税込み)

### ●受験対象

この検定試験の2級・3級合格に関係なく、受験できます。

### ●試験会場

「東京」「大阪」の2会場で実施予定。

### ●試験科目・配点

試験科目	配点
マーケティング戦略	200点
マーチャンダイジング戦略	200点
流通戦略	200点
マネジメント知識	200点
ファッションビジネス知識	200点

### ●合格基準

各科目とも配点の60%以上の得点をもって科目の合格とします。

5科目の合格をもって1級合格とします。

### ●試験科目と試験時間

集合時間 9:40

試験時間 9:50～16:20

試験科目	試験時間
マーケティング戦略	9:50～10:50
マーチャンダイジング戦略	11:00～12:00
(休憩) 12:00～13:00	
流通戦略	13:00～14:00
マネジメント知識	14:10～15:10
ファッションビジネス知識	15:20～16:20

出題形式 筆記試験 記述式及び記号選択式

### 願書請求、出願、お問い合わせ先

#### 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-20-6 家庭クラブ会館1F

TEL03-6300-0263 FAX03-6383-4018

願書付き募集要項をご希望の際は、無料で送付いたしますので、お問い合わせください。

1級は、教育機関などでファッションビジネスに関する専門教育を2年以上履修し、卒業後アパレル・リテール企業で実務経験を5～6年程度積んだレベルとしております。

科目は、①マーケティング戦略、②マーチャンダイジング戦略、③流通戦略、④マネジメント知識、⑤ファッションビジネス知識の5科目で、試験時間は左頁掲載の表の通りです。

## 出題範囲

### 1. マーケティング戦略

- ・マーケティング理論、マーケティングリサーチなど
- ・ファッションメーカーのマーケティング戦略、インポーターのマーケティングなど
- ・ファッション専門店のマーケティング戦略など
- ・大型店のマーケティング戦略、SCのマーケティング戦略、無店舗販売企業のマーケティング戦略など
- ・新業態開発、業態革新、全社的マーケティング、グローバルマーケティングなど

### 2. マーチャンダイジング戦略

- ・ファッションマーチャンダイジング理論、ファッション情報の収集・分析、新ブランドのマーチャンダイジング、既存ブランドのMD再構築など
- ・ファッションメーカーブランドのマーチャンダイジング、デザイン戦略、インポーターのマーチャンダイジング戦略など
- ・アパレルメーカーの素材調達・生産管理、テキスタイル企業のマーチャンダイジングなど
- ・小売店舗のマーチャンダイジング、バイイング、無店舗販売企業のマーチャンダイジングなど
- ・VMD、ファッション店舗知識、商空間開発、ゾーニング、ディスプレイ知識など

### 3. 流通戦略

- ・アパレル企業の流通戦略、アパレル営業活動など
- ・出店戦略、多店舗化戦略など
- ・アパレル企業、ファッションリテーラーのプロモーション戦略など
- ・製造業、アパレル企業、小売業のロジスティクス戦略、SCM など
- ・テキスタイル企業の流通戦略、ネット販売企業の流通戦略、異業種ミックスの流通など

### 4. マネジメント知識

- ・会計、財務など
- ・企業経営の基礎知識、オペレーション戦略、予算、知的財産権など
- ・人事管理、労務管理など
- ・情報管理、IT活用、発想法など
- ・事業計画（ショップ事業計画、ブランド事業計画）など

### 5. ファッションビジネス知識

- ・日本経済とファッション産業、ファッション消費など
- ・ファッション産業構造、ファッションビジネスの変遷など
- ・ファッション商品知識、ファッションスタイリング知識など
- ・素材知識、色彩知識、柄の知識、生産技術知識、サイズ知識など
- ・ファッション史（レディス、メンズ）、ファッションとデザインの文化など

## ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 ～ファッションビジネス能力検定試験3級準拠～

B5判 219頁 定価¥2,570

ファッションビジネス能力検定3級準拠。既刊「ファッションビジネスⅠ」を改訂しました。商品の企画・生産から流通にわたるファッションビジネスの世界で活躍する際に必要な、基本的知識・技術をわかりやすく解説し、「川上」といわれるアパレル素材産業から、「川中」といわれるアパレル産業、そして、「川下」といわれるアパレル小売産業までの広範囲な分野を扱っています。

ファッションビジネス3級を受験される方は必携。章ごとに例題を収録しているので試験対策にご活用いただけます。



## ファッションビジネス〔Ⅱ〕 ～ファッションビジネス能力検定試験2級準拠～

B5判 310頁 定価¥2,855

ファッションビジネス能力検定2級準拠。「ファッションビジネス能力検定試験2級項目別・試験問題・解答集」と併用すると効果的です。ファッションビジネスの教育を受けた方、既に関連の仕事をしている方のために、その専門的な能力をさらに高め、消費者や小売店・専門店に対して、適切なアドバイスができる能力を伸ばすことができるように編集しています。繊維ファッション企業・リテール企業就職には必携の書。



## ファッションビジネス能力検定試験2級 項目別・試験問題・解答集

A5判 273頁 定価¥1,500

過去に出題された問題を抜粋し、編纂しています。特に「計数問題」「○×問題」一部の「文章選択問題」には解説文を掲載しているので、より理解を深めることができます。又、ご要望・ご質問の多かった「計数問題」には、すべて計算式を掲載しており、苦手と感じる方の克服にもご活用できます。巻末には、1回分の試験問題を解答とともに収録。当協会発行の「ファッションビジネスⅡ」と併用するとさらに効果的です。



## ファッションビジネス用語辞典 改訂版

四六判 本文476頁/カラー口絵4頁 定価¥3,780 5000語

ファッションビジネスに焦点を絞り、ファッションマーケティングからファッションマーチャンダイジングにいたるまで、その全てを網羅しました。同時に、ファッションビジネスから派生した流行・アイテム・素材・加工・柄・色彩等の語彙も関連用語として取り上げています。これからファッションビジネスを学ぶ学生はもとより、業界で働く人々にも利用していただけるよう、実践的な用語を抽出して、やさしく正確な解説を心がけています。書店でのお取扱いはありません。お手数ですが協会本部 (☎03-6300-0263) までお申し込みください。



## 一般財団法人日本ファッション教育振興協会 都道府県支部連絡先

試験の申し込みに関するお問い合わせは、ご希望の受験地の下記支部まで。

なお、検定を実施していない県もありますので、その場合は協会本部（03-6300-0263）までご連絡ください。（2011.8）

北海道	064-0804	札幌市中央区南四条西16-2-5 北海道ドレスメーカー学院内	011-561-4181
青森県	030-0132	青森市横内字神田12 青森中央文化専門学校内	017-728-0145
岩手県		岩手会場はありませんので、近隣の都道府県支部にお申し込み下さい。	
宮城県	984-0073	仙台市若林区荒町209 宮城文化服装専門学校内	022-227-1345
秋田県	012-0845	湯沢市材木町2-1-16 湯沢ドレメ専門学校内	018-373-8174
山形県	990-0023	山形市松波4-6-11 (社)県私立学校総連合会内	023-641-2323
福島県	960-8103	福島市舟場町2-1 県庁舟場町分館内 (社)県専各連内	024-521-1425
茨城県	308-0041	筑西市乙288 細谷高等専修学校内	0296-22-2733
栃木県	326-0803	足利市家富町2330 専門学校足利コミュニティーカレッジ内	028-441-6131
群馬県	371-0854	前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル6F 私学センター(社)県専各協内	027-255-6861
埼玉県		埼玉会場はありませんので、近隣の都道府県支部にお申し込み下さい。	
千葉県		千葉会場につきましては、協会本部へお問い合わせ下さい。	
東京都	160-0008	新宿区三栄町9 小沢ビル2階 東京都服飾学校協会内	03-3354-5022
神奈川県	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1 ダイアビル502 (社)県専各協内	045-312-2221
新潟県	951-8061	新潟市中央区西堀通三番町799 マンション西堀カメリア905 (社)県専各協内	025-222-8798
富山県	930-0018	富山市千歳町2-7-1 富山ファッション・カレッジ内	0764-32-2513
石川県	921-8032	金沢市清川町1-5 専門学校金沢文化服装学院内	076-242-2330
福井県	910-0019	福井市春山2-5-3 福井デザイン専門学校内	0776-22-3478
山梨県	400-0031	甲府市丸の内2-18-15 甲府ドレメ学院内	055-226-5533
長野県	390-0811	松本市中央1-7-13 松本衣デザイン専門学校内	026-332-4057
岐阜県	503-0883	大垣市清水町65 大垣文化総合専門学校内	0584-78-3383
静岡県	420-0853	静岡市葵区追手町9-26 私学会館2F (社) 県専各教振内	054-251-2335
愛知県		愛知会場につきましては、協会本部へお問い合わせ下さい。	
三重県	514-0042	津市新町1-1-36 津文化服装専門学校内	059-228-3985
滋賀県	520-0806	大津市打出浜11-15 国際経営情報専門学校内	077-525-4572
京都府	600-8079	京都市下京区堺町通松原下る鍛冶屋町254 ディーズファッション専門学校内	075-351-1497
大阪府	532-0005	大阪市淀川区三国本町3-35-8 大阪文化服装学院内	06-6350-0317
兵庫県	650-0017	神戸市中央区楠町5-1-22 (学)辻村学園内	078-371-2257
奈良県	635-0095	大和高田市大中176番地 (学)美芸学園内	0745-23-0099
和歌山県	640-8137	和歌山市吹上2-3-1 OKAファッションデザイン専門学校内	073-422-3022
鳥取県	683-0824	米子市久米町239 専門学校米子女子学園内	0859-22-5571
島根県		島根会場はありませんので、近隣の都道府県支部にお申し込み下さい。	
岡山県	700-0985	岡山市北区厚生町2-10-3 専門学校岡山ファッションスクール内	086-225-2768
広島県	730-0012	広島市中区上八丁堀8-23 林業ビル5F (社)県専各連盟内	082-227-8210
山口県	750-1144	下関市小月茶屋3-4-26 下関文化産業専門学校内	0832-82-0303
徳島県		徳島会場はありませんので、近隣の都道府県支部にお申し込み下さい。	
香川県	760-0017	高松市番町2-3-11 吉田愛服飾専門学校内	087-821-0911
愛媛県	790-0001	松山市一番町1-1-1 (学)河原学園 法人本部内	089-935-4510
高知県	780-0901	高知市上町3-16-1 高知文化服装専門学校内	088-872-7739
福岡県	812-0037	福岡市博多区御供所町2-53 西部ファッションビジネス学院内	092-291-0028
佐賀県	840-0823	佐賀市柳町2-21 緑ドレスメーカー服飾専門学校内	0952-26-4135
長崎県	852-8106	長崎市岩川町5-13 東洋文化服装専門学校内	095-848-1246
熊本県	862-0976	熊本市九品寺1-7-19 県私学協会内	096-372-6444
大分県		大分会場はありませんので、近隣の都道府県支部にお申し込み下さい。	
宮崎県	882-0825	延岡市須崎町4-6 トライアート・カレッジ内	0982-32-3840
鹿児島県	890-0056	鹿児島市下荒田3-28-12 野村服飾専門学校内	099-254-3358
沖縄県		沖縄会場につきましては、協会本部へお問い合わせ下さい。	

繊維・ファッション産業のことを詳しく知りたい!  
詳しい資料がほしい!  
そんなみなさまへのナビゲーションサイトです  
<http://www.fashionbiznavi.org/>

B+E 繊維ファッション産業協議会  
**FASHION BIZ NAVI**  
ファッション業界 印刷ナビ

ファッション・ビジネスについて調べよう!



読んでますます深まるファッション・ビジネスの世界



## (一般財) 日本ファッション教育振興協会

日本におけるファッション教育の知識・技術の向上を図るため創設された一般財団法人です。

繊維ファッション・流通分野の人材育成のための「ファッションビジネス能力検定」、アパレル企業の生産部門における人材育成のための「パターンメイキング技術検定」、リテール/小売企業で販売を担当する人材を育成するための「ファッション販売能力検定」さらに「ファッション色彩能力検定」などの検定試験の実施のほか、各種の調査・研究、全国での研修の実施、教育出版物の発行、情報の提供、さらにアパレル産業の担い手育成についての産業界との協議など、ファッション教育の確立と振興を図っています。

### 一般財団法人日本ファッション教育振興協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-20-6 家庭クラブ会館1F  
TEL/03-6300-0263 FAX/03-6383-4018  
<http://www.fashion-edu.jp>